

特集：キャリア支援

就職活動を終了した修士2年生から生物学類生へのメッセージ

島田 尚久（生命環境科学研究科・鎌田研究室・食品業界研究開発職内定）

① 就職活動を終えての感想

「楽しかった」それが一番の感想です。自分の将来をこんなにも考えた時間は今まで無く（大学院進学の時にもっとしっかり考えるよって話ですが…）不安に思うこともかなりありました。しかし、社会人の方々とお話をしたり、工場を見学したりと、普通なら経験できないことが体験でき、とても刺激的でした。また、面接で日本各地に足を運べたことが何よりも楽しかったです。私は名古屋に大阪、九州と色々なところを回りました。もちろん各地の美味しいものを食べ歩きました。食品業界志望たるもの、美味しいものはリサーチしなくちゃいけません(笑)。

② 就職活動前に考えておくべきこと

まずは私が考えたことは「どんな職業に就きたいのか」です。生物学類は食品を希望する人が多いと思います。しかし本当にそれでいいのでしょうか。40年間働くことを考えると、やはりいろいろな職を見ておいた方が良くと思います。私は興味のわいた会社には出向くことにしていました。家具屋さんや医療機器を扱う会社、プラスチックメーカー…。いろいろ見ましたがやはり私は料理が好きなので、食品がいいなあという結論になりました。

次に考えたことは「勤務地」です。私は就活を始めてすぐの頃は「勤務地はどこでもいいか…」とか考えていました。しかし就活終盤、両親・恋人・住環境などなど、様々なことから「勤務地は関東」という思いが強くなりました。皆さんもしっかりとご両親、恋人等に相談してから決めた方がいいと思います。働く時になってから「ここで一生働くのか、不安だ…」ということにならないように。

その他もろもろ、人それぞれ職に譲れない点はあると思います（給料・福利厚生・会社規模・雰囲気 etc.）。それらを考えたら、あとはその順位づけです。譲れない点すべてを満たしている会社に入れるのがベストですが、そう上手くはいかないかもしれません。この譲れない点をはっきりしておくのとそうでないのでは、志望度の高い会社のエントリーシート提出や面接に入る気合が全然違うと思います。

就職活動を終えて活動前にやっておけば良かったと思うことは Web テスト対策です。私は「企業は Web テストなんて重視しないだろう」という都合の良い盲信をしていたので、対策が疎かになっていました。しかし、振り返ってみると半数以上ここで落とされている気がします…。

その他、新聞を読んだ方が良く、OB 訪問をした方が良く等々様々なことが言われています。全部やるに越したことはないでしょうが、時間は限られています。自分に足りないものは何か、やるべきことは何か、しっかり考えて準備を行ってください。

③生物学類の教育（広く生物学教育）を受けた学生が受け入れられやすい業界および職種。または、受け入れられにくい業界および職種に対する考え。

「受け入れられやすい業種」なんて無いと思います。「入りたい」と強く思える業種が「受け入れられやすい業種」なのだと思います。

③ 就職活動中にとった戦略について

・大手ばかりを受けない

これ結構重要だと思います。大手はやはり競争率が半端ないです。エントリーシートで落とされることなんてしょっちゅうで、これが何度も続くと心が折れます…。そんな中、ある程度選考が進んでいる中小企業があるだけで、心に余裕ができます。ただ調子に乗ったり、油断したりするのが難点です。

・エントリーシートを人に見てもら

案外恥ずかしくてやりにくいです。でも効果は抜群でした。本音でしゃべれる友達（特に自分と全く進路の異なる人）に見てもらおうと、自分では全然気が付かないところを指摘され驚きました。

・笑顔

意外と面接は緊張して笑顔を忘れがちです。でも結構重要だったと思います。笑顔になると不思議と緊張も吹っ切れますし、何よりも面接を楽しんでやろう！という気分になれます。

④ 生物学類教育に望むこと

特にないです。

⑤ 将来の抱負

自分の作った商品をヒット商品にすることです。一般家庭で普通に食べられ、「美味しいね！」と言われ、冷蔵庫には常に1つストックがある…。そんな商品が作れたらいいなと思います。

長々と失礼しました。偉そうなこと書きましたが、私の言ったことは参考程度にとどめてください。先輩がこう言ってたから…。と言って鵜呑みにするのが一番よくないことだと思います。自分に合った就活スタイルを見つけてください。

Communicated by Jun-ichi Hayashi, Received December 2, 2011.